

令和8年度 新篠津村立新篠津中学校グランドデザイン

新篠津村がめざす子ども像

ふるさとを愛し 夢や目標をいだいて 未来を切り拓こうとする たくましい子ども

関係法令等
日本国憲法
学校教育法
学習指導要領
北海道教育推進計画
石狩管内教育推進の重点
新篠津村教育基本計画



学校教育目標

(知) 真理を探究する人
(情) 友情を大切にする人
(意) 創造し実践する人
(体) 健康で明朗な人

児童の実態
学校・地域の実態
教職員の願い
保護者の願い
地域の願い

めざす生徒の姿

学校教育目標	真理を探究する人 (知)	友情を大切にする人 (情)	創造し実践する人 (意)	健康で明朗な人 (体)
	考える楽しさを追い求め、深く学ぶ人になろう	違いを尊重し、互いに高め合う最高の仲間になろう	失敗を恐れず、未来を創り出す一歩を踏み出そう	心身の健康を自分で管理し、自信あふれる人になろう
知識・技能	教科等における基本的な知識や技能が定着している生徒	挨拶や時間を守るなど、基本的な生活習慣を持つ生徒	独自の価値観を持ち、多角的に物事を捉える生徒	基本的な生活習慣や、運動習慣を身につけた生徒
思考力・判断力・表現力	論理的に思考し、自分の考えを表現できる生徒	自分の意見を持ち、対話を通して適切に表現できる生徒	国際的視点で論理的に発信できる生徒	危険を察知し生命を守る判断ができる生徒
学びに向かう力・人間性	諦めず粘り強く探究に取り組む生徒	多様性を尊重し支え合う協働的な生徒	自ら決定し、新たな創造に意欲をもって挑む生徒	心身の成長を肯定的に捉える生徒

生徒会テーマ
『答えは、
私たちの中に。』
～対話で拓く、粘り強い一歩～

本年度の重点教育目標
多様な他者との対話や協働を通して
自ら考え決断したことを粘り強く
挑み続ける生徒の育成

教師スローガン
『挑戦を支え
しなやかに導く
チームしんちゅう』

重点方針① 生徒の資質・能力育成を意識した授業改善

取組① 対話と協働による授業実践

「多様な他者」(級友や地域の人など)との対話を通して考えを広げ、安易に妥協せず納得解を導き出す(決断する)授業の実践をめざす。

取組② 基礎基本の定着(知識・技能)

生徒がつまずきを乗り越え、最後まで課題に取り組む「粘り強さ」を育むため、個に応じた指導や反復学習を徹底し、確かな学力を保证する。

取組③ ICTの活用

端末を思考や表現のツール(文房具)として使いこなし、多様な意見に触れながら協働して課題解決に挑む学習活動を展開する。

重点方針② 生徒の自己成長を促す学校活動の充実

取組① 多様性の尊重

「多様な他者」を尊重し、互いの違いを認め合う温かな人間関係を築く。不登校生徒等への支援も含め、誰もが心身ともに安心・安全な環境を整える。

取組② 国際理解教育の充実

海外の学校とのオンライン交流、ALTや地域国際人材との協働授業、SDGsをテーマとした探究活動等を通じて、国際的視野を広げる教育を実践する。

取組③ 自己決定の場の創出

生徒の自己決定を尊重する「発達支持的生徒指導」を基盤としつつ、問題行動や不適応に対しては、全教職員で組織的な対応とる。過度な配慮はせず、生徒の社会的自立に向けた本質的な支援を行う。

重点方針③ 地域連携型の学校づくりの推進

取組① 小中一貫教育の充実

小学校との連携を強化し、義務教育9年間を見通した系統的な指導カリキュラムを編成・実施する。また、教職員間の連携・指導の連続性を高め、「中1ギャップ」の解消と学力の向上を図る。

取組② CSと地学協働の推進

地域人材を積極的に授業や行事に招き、学校外の「多様な他者」との対話を通して、社会性や広い視野を育む機会を創出する。

取組③ 家庭との連携

「自ら学ぶ」習慣を定着させるため、発達段階に応じた家庭学習の手引きを作成・周知し、保護者と連携して学習環境を整える。また、早寝早起きやメディアコントロール等、学習の基盤となる生活習慣の確立を図る。

持続可能な学校運営 教職員の「やりがい」「働きがい」を実感できる職場づくりの推進(働き方改革の推進)

令和8年度 本校の研究主題

「対話を通じて協働的に学び続ける生徒」の育成
～見方・考え方を働かせ、生徒が学びを実感する授業づくり～